

JRの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

職場に乗り込み徹底追及 午後から24時間のスト

10月1日~2日



動労千葉は10月1日より24時間のストライキに突入しました。今回は出勤時からのストではなく、朝8時30分前に強制出向となった組合員が一同(写真)となって千葉鉄道サービス(CTS)に乗り込み、デタラメな外注化と偽装請負を徹底的に追及しました。結局、午前中はなんの業務にも就かないまま、午後からの24時間ストライキに突入しました。

幕張車両センターでは先週から連日の時限ストを貫徹し、JRは出向の説明もまともに行っていない。組合員は制服やヘルメットもいまだ受けとっておらず、出勤日や業務内容さえ定かではない状況でした。

組合員の追及に対しCTSは「内規も業務もこれまで通り」としか説明できません。これまで通りならば外注化する必要はありません。

幕張車両センターでは10月1日、他支社からスト破りを動員し、業務委託したはずのCTSに代わってJRが業務を行っています。これは偽装請負そのものだ!

検修職場の外注化まで約12年かかりました。もう半ば破綻しています。すべてはこれからです。労働組合が徹底的に抵抗すれば十分に勝負になります。JR側が指揮命令すれば直ちに偽装請負となります。動労千葉は、徹底的な職場闘争を展開して偽装請負を追及し、車両の安全を守るために誇りをもって外注化と闘い続けます。

「命令系統の案が10月1日に提案される状況。一步一步追及すれば止められる」——現場組合員は会社の失態に自信を深め、圧倒しています。

他支部の組合らに送り出され、職場に乗り込む動労千葉幕張支部の組合員(幕張車両センターに隣接する幕張本郷駅前)